

## 監査公表第7号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第9項の規定により、定期監査に係る監査の結果を次のとおり公表する。

平成26年12月19日

幕別町監査委員 柏本和成

幕別町監査委員 乾邦廣

### 定期監査報告書（水道事業会計）

#### 第1 監査の概要

##### 1 監査の対象

平成26年4月1日から平成26年9月30日までの水道事業の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理状況について監査を行った。

##### 2 監査の期間

平成26年11月11日（火）から平成26年12月17日（水）まで

##### 3 監査の手続

監査の対象となった財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、提出された資料並びに提示のあった関係書類及び会計帳簿等に基づいて、照合その他通常実施すべき監査手続を実施した。

また、当事業の管理の状況についても、提出された資料及び提示のあった関係書類等に基づいて、必要と認めた監査手続を実施した。

#### 第2 監査の結果

監査の結果、当事業に係る財務に関する事務は、関係法令、会計規程等に準拠して適正に執行されているものと認められた。また、当事業の管理の状況についても、適正に執行されているものと認められた。

なお、監査の結果と所見については下記のとおりである。

#### 記

##### 1 収入未済金対策について

本年度上半期の営業収益は258,670千円（前年同期268,763千円）、営業費用は116,924千円（前年同期112,142千円）で、営業費用の増加により経常収益は前年同期と比較すると減少傾向にあるが、経営の効率化及び地方公営企業会計制度の見直しにより、年度末には累積欠損金が解消される状況である。

現年度分の収納率は65.53%で前年同期比0.37ポイント上昇しているが、社会情勢、経済状況などによる徴収の難しさはある。使用料の公平負担の観点から、現年度分や滞納繰越分

の収入未済金の回収に引き続き努力されたい。

また、今後も老朽施設の維持や改修、災害時の給水体制の構築などもあり、厳しい経営が続くものと思われるので、更なる経営の健全化を進められたい。